

○先日は、野田さんがいらした筑紫女子学園大学が「文部科学大臣賞」を受賞されました。おめでとうございます。野田さんは、今年から新社会人ということですが、どのような会社に就職されたのですか。

野田) はい、私は自動車販売会社に事務職で就職いたします。この会社を選んだのは、人と関わる、人を支える仕事であったこと、また、会社の雰囲気が自分に合っていると思ったからです。



○就職活動で大変だったことはどのようなことですか。

野田) そうですね。大変だったことは、エントリーシートや履歴書を記入することです。文章で自分をわかりやすく、かつ相手に興味をもってもらうように表現することが大変でした。話し言葉であれば、言いたいことを強調するとか、または、前のめりになって話すなど、さまざまな表現方法がありますが、文章ではそれが出来ません。その点がとても大変でした。

○エントリーシートや履歴書のなかで、日本語力を駆使して表現するという点では、必要なのは、日本語の正しい文法の知識、語彙力ということでしょうか。ところで、野田さんは、秘書実務士という資格をお持ちですね。これは「日本語検定認定」と合わせて認定されたということですか。

野田) はい、秘書検定2級以上と指定されている他検定に合格すると秘書実務士の認定をいただくことができます。私は、日本語検定の認定で秘書実務士に認定していただきました。

○秘書実務士に認定され、就職活動に臨まれていかかでしたでしょうか。

野田) 資格を持っているという点での自信、また、秘書検定で身につけた作法と日本語検定で得た語彙力があるという自信を持って堂々と面接に臨むことができたので、私自身にとっては有利であったと思います。

○あらためて伺いますが、日本語検定を受検されたことで、良かったことや気づいたことがあればお聞かせください。

野田) 良かったことは、自信がなかった語彙力を高めることができたことと、勉強したことをすぐに日常生活に応用できたことです。気づいたことは、日常的に使っていた言葉に誤用が多かったことです。逆に、自信がなく使っていなかった言葉が、正しい言葉で使って良かったとわかりました。そして、何ごとも勉強が大切であり、わからないことがあればすぐに調べるべきだということが一番の気づきだと思います。

○これから就職活動する後輩に向けて何かメッセージがあればお聞かせください。

野田) 何よりも体調管理には気をつけて頑張っていたいただきたいと思います。壁にぶつかった時に自分を追い込んでしまったり、投げやりになったりすることもあるかもしれませんが、前を向いていれば必ず良い縁に恵まれると思います。就活生のみなさんが、頑張った分報われるよう祈っています。

○野田さん、本日はありがとうございました。これからも社会人として頑張ってください。